

安芸高田市環境基本計画改定業務

仕様書

令和 8 年 月

安 芸 高 田 市

第1章 一般仕様

1. 適用

本仕様書は、安芸高田市（以下、「本市」という。）が発注する「安芸高田市環境基本計画改定業務」に適用する。

2. 業務目的

本業務は、令和3（2021）年に策定した「第2次安芸高田市環境基本計画」の中間年度における見直しを行うものである。

3. 業務名称

安芸高田市環境基本計画改定業務

4. 業務場所

安芸高田市内

5. 業務委託期間

契約締結日の翌日～2027年3月31日まで

6. 成果品

本業務の成果品は次のとおりとする。

計画書（A4版 カラー）及び概要版の電子データ（Word 及び PDF） 一式
電子媒体（CD-R または DVD-R）にて1部納品すること。

7. 適用範囲

本仕様書は、委託業務の基本的内容について定めるものであり、本仕様書の目的達成のために必要な資料及び書類、または業務遂行の性質上当然必要と思われるものについては、本仕様書に明示されていない事項でも本業務受託者（以下、「受託者」という。）の責任においてすべて完備しなければならない。

8. 手続き書類の提出

受託者は業務の開始及び完了にあたって次の書類を提出しなければならない。

（1）業務の開始時

- ①管理技術者届（資格証を添付すること）
- ②業務工程表

（2）業務の完了

- ①業務完成通知書
- ②成果品一式
- ③その他必要な書類及び打合書類等

9. 業務の完了

本業務の完了は次の項目を終了した時点とする。

- （1）本業務に関するすべての図書一式の提出が完了すること。
- （2）上記の図書類について本市の検査が完了すること。

10. その他

- （1）受託者の遵守事項

受託者は次の事項を遵守しなければならない。

①受託者は業務の詳細について常に本市担当者と連絡をとり、十分に打合せをして業務の目的を達成しなければならない。

②受託者は本業務について中立性を有し、知り得た情報を第三者に漏洩又は利用してはならない。

(2) 疑義

受託者は、本仕様書の内容及び本仕様書に明示ない項目について疑義のあるときは、速やかに本市担当者と協議の上、本市の意図を十分に理解し、本市の指示に従い、本業務を遂行するものとする。

(3) 変更

①業務遂行期間中に提出書類の中に本仕様書に適合しない箇所が発見された場合及び提出書類によっては本計画を遂行することができない箇所が発見された場合は、提出書類に対する変更を受託者の責任において行うこととする。

②その他本業務の遂行にあたって変更の必要が生じた場合は、本市の定める契約事項または指示によるものとする。

(4) 関係法令及び条例の遵守

受託者は、本業務の遂行にあたっては、関連する諸法令及び条例等を遵守しなければならない。

(5) 打合資料の提出

本業務遂行にあたって、本市と打合せた事項についてはその内容を記載した記録書類を作成し、業務完了時に提出することとする。

(6) 業務の完了について補足事項

業務完了後も訂正、記載漏れ等の不備が発見され、または関係機関からの資料提出または内容変更等の要望に対しては速やかに対応することとする。

また、この場合に発生する経費の一切は受託者の負担とする。

(7) 資料の貸与

本業務の遂行上、必要または利用可能な資料で、本市が所有しているものについては貸与する。この場合、受託者において借用書を提出するとともに、業務の完了時返却を行うものとする。

(8) 打ち合わせ協議

①受託者は、業務の進捗状況に応じて適宜本市に中間報告を行うこととする。

また、本市にとって早急に必要と思われる資料については、業務の終了を待たず、中間報告として速やかに提出することとする。

②受託者は、委託業務期間中において本市が指示した場合または受託者が必要な場合は適宜打合会議を持ち、責任をもって円滑な業務遂行を行うこととする。

第2章 特記仕様

1. 目的

本市では、2011年に「安芸高田市環境基本計画」を策定し、さらに2021年にその改定計画である「第2次安芸高田市環境基本計画」（以下、「前計画」という。）を策定した。

前計画の計画期間は2030年までの10年間だが、中間年度の2026年度に見直しを行うこととしている。

本計画は、前計画策定後の社会動向の変化の盛り込みや各種環境データの更新等を行い、見直し計画としてとりまとめるものである。なお、本市では、2026年1月に「安芸高田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下、「実行計画」という。）を策定したが、本計画における環境分野「地球環境」ではこれを取り込み、この部分をもって実行計画を兼ねるものとする。

2. 業務内容

2-1. 計画の策定

(1) 基本的な考え方

① 計画の目的と背景

計画の目的を明らかにしたうえで、近年の社会動向や本市を取り巻く社会情勢の変化、関係する上位計画・関連計画を整理する。

② 計画の位置づけ・期間・対象

計画の位置づけ、計画の期間、計画の対象を明らかにする。

(2) 安芸高田市の現況

① 安芸高田市の現況

人口や土地利用、産業や交通、観光や文化財等の本市の現況を整理する。

② 環境の現況

「計画の対象」で明らかにした自然環境、生活環境、快適環境、地球環境、環境保全活動の5つの環境分野について、それぞれその現況を明らかにする。

なお、地球環境については、「実行計画」に記載された温室効果ガスの排出量等の現況を記載するものとする。

(3) 環境の将来像と基本目標

本市が目指すべき環境の将来像を明らかにし、それを実現するための基本目標及び基本施策を5つの環境分野ごとに整理し、それらを施策の体系としてとりまとめる。

(4) 取組・施策

以上を受けて、5つの環境分野ごとに現状と課題を整理し、市民・事業者・市の3つの主体が展開すべき取組や施策を整理する。

なお、地球環境については、「実行計画」に記載された削減目標や取組を記載するものとする。

(5) 推進体制と進行管理

本計画を推進するための体制と進行管理について整理する。

2-2. 出前授業の実施

本市では、本計画の策定をきっかけとして、市民の環境に対する意識向上と普及啓発の推進に取り組むこととしている。

その一環として、受託者は本市が指定する小学校のモデル校3校に講師を派遣し、各2コマ程度の環境の出前授業を行う。具体的な授業内容に等については、契約締結後当該小学校と打合せを行うものとする。従って、受託者は小学校への環境の出前授業の実績を持つことを要件とする。

3. 管理技術者

受託者は、環境部門（環境保全計画）の技術士資格を有する者をもって業務全般にわたる技術的管理を行わせるものとする。